

Hallo! にちらん

“Hallo!” はオランダ語のよびかけのことばです

● ● ● 2026(令和8年)4.1

主催事業のご案内

【会員宛】佐倉日蘭協会総会を開催します(終了後、茶話会あり)

日時: 令和8年4月25日(土) 午後2時～
会場: 佐倉市役所社会福祉センター3階
中会議室
議案: 令和7年度事業報告・決算
令和8年度事業計画案・予算案

※会報に同封したハガキにて出欠をご返信ください



オランダ(蘭学)ゆかりの地巡り 第23回東京散策会 国営昭和記念公園 参加者募集

毎年4月当協会は、佐倉ふるさと広場で行われるチューリップフェスタ期間中に協力団体として「風車まつり」を実施していましたが、今年度はふるさと広場の拡張工事に伴い中断せざるを得ません。そこで今年度は、オランダ「キューケンホフ公園」の元園長コスター氏が設計、施工に関わった



チューリップガーデンがみられる国営昭和記念公園を訪れます。色とりどりに咲いたチューリップを鑑賞しながら穏やかな春の散策を楽しんでいただけたら幸いです。

佐倉から公共交通機関を利用して約2時間のところにある国営昭和記念公園は、かつて米軍の立川基地(立川飛行場)で、昭和52年(1977)に全面返還されました。昭和54年(1979)、昭和天皇御在位五十周年記念事業の一環として閣議決定に基づき、昭和58年(1983)10月第1期70haが開園しました。その後、現在は立川市と昭島市にまたがり約170ha(東京ドーム32個分)の広さとなり、四季折々の花、木々等で来園者を楽しませています。

散策コースとして、JR 青梅線「西立川」駅下車後、「西立川口」から「チューリップガーデン」を堪能していただきます。その付近で昼食をとっていただき、各自自由行動といたします。園内案内図に基づき、桜の園、日本庭園(数寄屋造りの飲楓亭ではお菓子と抹茶(¥700)を頂くことができます)、盆栽園、こもれびの里等散策できます。また「立川口」近くの「昭和天皇記念館」(¥410)へは、園内を一周するパークトレイン(¥400、1時間に2～3本運行)に乗車して頂くことができます。

日時: 4月12日(日) 11時～15時

小雨決行 荒天中止

集合: JR 青梅線「西立川駅」下車
公園出口付近 11時

(洗面所は入場券売り場、園内に多数あります)

参加費: 200円(保険料他) 現地までの交通費、各入場料、昼食代は各自負担
(園内は広いのでお弁当持参も可能です)

入場料(65歳以上¥210・65歳以下¥450)

各種電子マネー使用可

対象: 会員とその家族

持ち物: 飲み物、帽子、雨具等

定員: 20名 (先着順)

3月30日より受付(千葉電子サービスにて)※事務局員経由も可

※4月6日締め切り

問い合わせ: 佐倉市文化課 043-484-6191

※詳細は受付終了後、参加者の方々にお知らせ致しますが、当日集合場所で再度ご案内いたします。

※昨年度から、千葉電子サービスを利用して申し込みを開始しております。今回会報と一緒に送っております、マニュアルを参考に
お申し込みをお願いいたします。



申込はこちらから



第37回

オランダ語講座を開講しました

1月24日から3月14日の期間、8回にわたりオランダ語講座(初級)を開催し、会員・一般から受講生9名の参加がありました。受講生は高校生からシニアまで年代も幅広く、リピーター数名と全くの初心者が一緒に楽しく取り組みました。オランダに行った経験のある人、これから行く予定のある人、オランダ語学習の動機は様々ですが、意欲的に学習していただきました。アルファベットの難しい音の練習、日常の挨拶、名前や出身を尋ねるなど基礎的な表現を習得しながら、オランダの生活や文化に関する知識も広げていきました。リピーターさんはもとより、初心者皆さんも回を重ねるごとにスムーズに発音。会話できるようになりましたので、また次のステップで一緒にする時を楽しみにしています。

【講師 山岡みち代】



オランダ語初級講座に参加して

オランダ児童交流で我が家に女の子が二人ホームステイしたのは、10年以上前になります。彼女達はひどいホームシックにかかって最初の3日間は泣いてばかりいました。英語でのコミュニケーションにも限界があり、少しでもオランダ語ができたらとその時痛切に思いました。あれから随分経ってしまったけれど、いつか学びたいと告知を見ていたオランダ語講座に今年ようやく初参加。老化した脳を久しぶりにフル回転させて、新しい音と単語を覚えようと毎週大奮闘しています。油断するとすぐに単語は英語読みに振れてしまう、会話だということを忘れてテキストの文字ばかり追ってしまう。それでも新しい言葉と仲間との出会いは楽しいです。山岡先生のご自身の経験から紹介して下さる文化や習慣の一端も楽しいです。

2026.4.1

まもなく最終回ですが、もう何回もこの講座を受けているという人もいて、言葉は継続が大事だと改めて思いました。私も細々と続けていきたいと思っています。 【受講生 川口知子さん】

私は将来、大学でオランダの社会や文化について専門的に学びたい、と考えています。そのための準備として、まずは現地の言葉に少しでも慣れておきたいと思い、今回の講座に参加しました。

最初は独特の発音や綴りに戸惑うこともありましたが、先生が丁寧に指導して下さいのおかげで、最終的には基本的な挨拶や自己紹介などを一通り身につけることが出来ました。

今までは本やインターネットの中だけの存在だったオランダという国が、自分の声でその言葉を話すことによって、ぐっと身近に感じられたことが一番の収穫です。

今回の講座を通して、言語を学ぶ楽しさはもちろん、その背景にある文化への興味も更に強まりました。大学での本格的な学びに向けたステップになったと感じています。ここで得た自信を励みにして、入学までの時間も無駄にせず、オランダへの理解をより一層深めていきたいです。

【会員家族 高校生Sさん】

オランダ料理講習会を開催しました

2月8日(日)午後、ミレニアムセンター佐倉4階調理室にてオランダ料理講習会を開催し、会員・一般・子どもたち合わせて39名の参加がありました。今回は特に市内ヤングプラザのご協力により市内在住の子どもたちとその保護者の参加があり、幅広い世代の皆さんにオランダの生活や文化を知り体験していただく機会となりました。調理に取りかかる前に、佐倉とオランダに因んだチューリップ、風車、ストリートオルガンのクイズに挑戦、難しい問題もありましたが、子どもたちがハイ！ハイ！と元気に答えてくれました。今回のレシピはパネケーキ3種とリンゴのパイ包み焼き、いずれも、これまでの当協会オランダ料理講習会で紹介し好評であったオランダを代表する家庭料理でした。大人と子ども組み合わせで5グループに分かれ、相談し助け合いながら熱心に調理し、試食では美味しい！の感想を頂きました。モチモチ感のあるパネケーキはプレーン、リンゴ入り、ベーコン入りを焼き、具材やトッピングの変化を楽しみました。リンゴのパイ包み焼きはリンゴ・干しブドウ・シナモン等を混ぜて包み焼くだけですが、とても爽やかな甘みとなりました。前日から数センチの積雪となりまし



たが開始時には天気も回復し、予定通りの講習会を実施することが出来ましたのは参加皆様のご協力のお陰と感謝いたします。大人と子どもと一緒に調理できる手軽で美味しいオランダ家庭料理、これからもご家庭で、お仲間で、皆さん一緒に楽しんでいただけますよう！

【会長 山岡みち代】



オランダ料理講習会に参加して

子どもと一緒にオランダ料理を習うという、とても素晴らしい経験ができました。パネクークを作る際に、同じテーブルの子どもたちが協力して一つずつ卵を割っている姿、泡だて器を使ったりボウルを押しさえたりと役割を交代しながら生地を、混ぜていく様子、火に気を付けながらフライパンで調理するところなどを見ることができたのも嬉しかったです。出来上がったものはどれも美味しく、感動しました。特に、りんご入りのパネクークは、優しい



甘さでほっとするお味でした。パイ包み焼きは、シナモンの香りとレーズンの歯ごたえが良かったです。

家でも一緒に作ってみたいと思います。楽しい時間をどうもありがとうございました。

【ヤングプラザ 保護者】

パネクークを作る時に、同じ班の3人で卵を順番に割ることができました。その後に牛乳を少しずつ加えながらみんなで協力してぐると混ぜたことも良かったです。難しかったのは、マスクをしながら熱いフライパンを使うことでした。包丁を使ってベーコンを切る時に、おうちでおばあちゃんに教えてもらったように指を丸くしたら、上手に切れました。りんご入りはひっくり返すのが大変でした。



りんごのパイ包み焼きは、中身をたくさん入れてフォークで押さえるのが楽しかったです。

パネクークをりんごやベーコンといったいろいろな食べ方をしたのも嬉しかったです。レシピをもらったので、がんばっておうちで作ってみます。

【ヤングプラザ 児童】



2月8日(日)にミレニアムセンター佐倉で行われたオランダ料理講習会に参加しました。

この日のお料理は「パネクーク(pannekoek)」

と「リンゴのパイ包み焼き(appelflap)」です。オランダ料理講習会に参加すれば自宅でオランダの味を楽しめるとあって、講習会の日を大変楽しみにしていました。

当日は朝から雪が降り続き、佐倉ふるさと広場にあるオランダ風車

当日は朝から雪が降り続き、佐倉ふるさと広場にあるオランダ風車

「リーフデ」も霞んで見えるほどの雪景色でした。みなさん無事に参加できるかしらと心配になりましたが、会場には佐倉市ヤングプラザの子どもたちも集まり、賑やかな雰囲気の中、講習会が始まりました。

リンゴの皮をむき、フライパンで薄い生地を返し、甘味付けしたレーズンとリンゴをパイ生地で包み…最初は大人も子どもも慣れない手つきでしたが、終盤には手際もよくなり、子どもたちの大活躍もあって無事に完成させることができました。パンケーキはベーコンとリンゴの二種類で、仕上げに粉砂糖をかけていただきました。アップルパイも綺麗に焼き上がり、シナモンの香りに食欲がそそられました。どちらも大変美味しく、調理室は笑顔であふれていました。

これから週末の朝はパネーク、15時のおやつはリンゴパイにしたと思います。ご準備くださった皆さま、講師をしてくださった会長、ありがとうございました。
【会員 小松 愛】



-写真展を鑑賞して-

「オランダ X 千葉 撮る、物語る」

—サラ・ファン・ライ & ダヴィット・ファン・デル・レーウ 清水裕樹 展—

1月14日に千葉県立美術館で開催されていた写真展に行きました。

まず千葉県出身の清水さんの千葉の懐かしい風景、徳川昭武(徳川慶喜の弟)が松戸の戸定邸で撮った写真を題材に昭武との会話を想像し展示してあり大変興味深かったです。当協会では2018年ゆかりの地巡りバス見学会で戸定邸を訪れた経緯があります。

なお、昭武は1867年パリ万国博覧会に幕府の名代として弱冠14才で派遣され、その後オランダ各所を視察しました。

次にオランダ出身の2人はパートナーでロックダウン中の作品、自宅で撮ったチューリップ、バラなど〈植物シリーズ〉とニューヨークに行き静まり返った大都会を撮った〈メトロポリタン・メランコリア〉の展示があり、写真でロックダウンを表現し心打たれました。

最後の部屋にはオランダ、千葉、写真に関する特大の年表があり佐倉藩、順天堂など細かく記載され、1987年佐倉日蘭協会設立が載っていて、嬉しかったです。

盛りだくさんで有意義な写真展でした。

【事務局 若宮陽子】



オランダ関連情報

-本の紹介-

「じゃがたらお春・更紗の時代」

—17世紀、グローバルな街で生きた
日本人女性たち—
白石広子著 春風社



* オランダ関係のイベント情報、ニュース等ございましたら、メール・FAX等で下記問い合わせ先までお知らせください。

特別会員（敬称略）

岡村美智子	佐倉ロータリークラブ
(株)小川園	田中育子
(株)オランダ家	千明 (CHIGIRA, M)
(株)木村屋	DIC 川村記念美術館
(株)クリケット	塚田雅二
佐倉厚生園病院	日本電気商会
(社)佐倉市観光協会	宮北英志
佐倉商工会議所	
佐倉社中合同会社	
佐倉順天堂医院	
(株)村山ツーリストビューロー	



佐倉日蘭協会

〒285-0037 佐倉市本町 81 佐倉順天堂記念館
普通会員 1口 2,000円 / 特別会員 1口 5,000円
* 新規会員募集中 詳細は下記問い合わせ先へ
事業参加申込 ・ 問い合わせ
佐倉市魅力推進部文化課
文化振興班 佐倉日蘭協会担当
〒285-8501 佐倉市海隣寺町 97
TEL . 043-484-6191
FAX . 043-486-9401
e-mail : bunka@city.sakura.lg.jp
ホームページ 「佐倉日蘭協会」で検索

